

# 旭区西部地域包括支援センター

## 響（ひびき）

2022年3月号（NO. 68）

発行元：旭区西部地域包括支援センター  
06-6958-5030



1月・2月はオミクロン株など、コロナウイルスが猛威を振るう中、地域の活動は中止せざるを得ない状況となり集まりの機会が減少傾向にありました。コロナ禍で生じやすい、閉じこもりなど支援の手が届きづらいところへどう働きかけるかなど様々な機関とオンラインでの会議などを通じ模索しております。

## 多頭飼育崩壊について

高齢者世帯等でも起こり得るのペットに関する地域問題である「多頭飼育崩壊」をご紹介します。

多頭飼育崩壊とは、多数の猫や犬などの動物を飼育している環境下で、鳴き声等の騒音・悪臭・動物の徘徊などを発生させ健全な飼育が困難に陥っている状態を意味します。

猫は繁殖能力が強く、一度の出産で4～6匹ほど子を産み、年に数回妊娠することもあるため、数が急速に増えてしまいます。

野良猫が出入りできる場所にペットの餌を置いており家猫と野良猫が交配し、地域に猫が繁殖してしまうなどのトラブル事例が発生することも珍しくありません。

各自治体による指導や勧告に加え、どうぶつ基金による野良猫の去勢や避妊手術も行われたりしていますが、解決には数年単位で時間を要してしまう事もある複合的な地域課題です。

また、去勢や不妊手術をした猫は目印として耳をV字にカットします。その耳が桜の花びらの形に似ている為「さくら猫」と呼んだりもします。



### さくら猫

左耳がさくらの形になっている猫はメス、右耳はオスなんですね。

## 新入職員のご紹介

令和4年、1月より保健師として入職いたしました、小名川 加那（こながわ かな）と申します。

予防医療など健康教室等を通して、たくさんの方々をご支援できるよう日々精進してまいります。まだまだ至らない点がありますが、地域に住む高齢者が安心して生活できるよう支援していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

